

平成 29 年 (2017 年) 6 /25

第 8 5 号

火事と救急は

局番なし 119 番

消防だより

発 行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町 1 丁目 2 1 - 6

吹田市消防本部内

電話 (06) 6193-0119(代表)

平成 2 9 年度全国統一防火標語 『火の用心 ことばを形に 習慣に』



高度救助隊発隊式 (5 ページに関連記事)

火災のない明るい吹田市を築きましょう

吹田市防火連合会会長就任ごあいさつ



吹田市防火連合会
会長 三澤 博之

初夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、吹田市防火連合会の会長に就任いたしました三澤博之でございます。

会員の皆様には自主防火・防災体制の整備や自衛消防力の充実強化など、地域、事業所等における防火・防災にご尽力いただき、改めまして敬意を表しますとともに、お礼申し上げます。

また、平素から本会の事業運営につきまして、格段のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。もとより微力ではございますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、国内におきましては、依然として大きな災害が発生しております。昨年4月に起きました熊本地震では、吹田市消防本部から緊急消防援助隊大阪府隊として出動しご活躍されました。地震発生から早くも1年が経過し、いまだに復興への道のりもまだまだ遠いもので、被災者の方々のご苦労は察して余りあります。さらに昨年12月に新潟県糸魚川市で起きました密集地の大火災は対岸の火事と見過ごすことのできないものであります。このような災害から多くのことを学び、いわゆる「自助」「共助」「公助」に関しましては、災害時に地域で助け合う体制や活動とされる「共助」がなお一層重要であり、こうした体制を確立するためには、本会が大きな役割を果たすことになろうかと思ひます。

最後になりましたが、市民の皆様をはじめ本会の事業所、消防関係者の方々のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

消防長就任ごあいさつ



第16代消防長
村上 和則

4月1日付けで吹田市消防長を拝命しました村上です。

この度、第16代消防長を拝命いたしましたことは、伝統ある組織を担う重責を痛感いたしますと共に身の引き締まる思いでございます。もとより微力の身ではございますが、吹田市消防本部のこれまでの輝かしい歴史に恥じないよう専心精励してまいり所存でございます。皆様におかれましては 前任者同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年4月に熊本で震度7の地震が発生し熊本県、大分県などで大きな被害が出ました。吹田市消防本部も緊急消防援助隊大阪府隊として熊本県に派遣し救助・救急活動を行いました。さらに、12月には新潟県糸魚川市での大火がございました。被災エリアの消失面積は約40,000㎡、負傷者は17人、約170世帯が被災した火災でした。この度の地震、火災で被災された多くの皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

このような災害のときに活躍すべく本年3月1日に高度救助隊を発隊いたしました。今までの特別救助隊の上位に位置するもので、東日本大震災や昨年の熊本地震を経験した精鋭たちです。ひとたび要請があれば救助工作車にて救助活動に駆けつけます。

さて、救急に目を向けますと、本市内における救急要請件数は年々増加の一途をたどっており、すべての救急車が出動状態になることがたびたびあり、それを少しでも解決すべく、本年4月1日に南消防署へ救急車を1隊増隊し、現在吹田市では救急車が8台で運用しています。これにより市民の皆様が救急車を必要とするとすきすぐに出動できる体制に近づいていると考えています。

結びに、市民の皆様方の負託に応えるべく、消防職員及び消防団員が一致団結して職務に邁進することをお誓い申し上げまして新任のご挨拶といたします。

協会だより

吹田市防火連合会

6月29日（木） 総会（新大阪江坂東急REI
ホテル）

吹田市公衆集合場防火協会

4月21日（金） 役員会（消防本部）
6月5日（月） 総会（サニーストンホテル）

吹田市工場危険物防火協会

4月25日（火） 役員会（消防本部）
6月9日（金） 総会（新大阪江坂東急REI
ホテル）

吹田市建設業防火協会

4月14日（金） 幹事会（消防本部）
6月1日（木） 総会（新大阪江坂東急REI
ホテル）

吹田市家庭防火クラブ連絡協議会

5月9日（火） 総会（消防本部）

防火さつき会

4月18日（火） 総会（消防本部）

消防本部人事異動（課長級以上）

（平成29年4月1日現在）

職 名	氏 名	旧 職 名
消防本部理事 総務予防室長事務取扱	笹野 光則	次長、総務予防室長兼務
次長、警防救急室長兼務	廣田 哲也	東消防署長
北消防署長	前田 昌史	消防本部総括参事（救助G）
東消防署長	廣瀬 栄二	消防本部総括参事（指令システム担当）
消防本部総括参事 （北消防庁舎建設等整備担当）	深川 順弘	総務予防室参事（企画G）
消防本部総括参事 （救助G・安全管理・運転技術 指導担当）	西尾 敬三	東消防署警防第1司令長
西消防署長	近澤 龍児	西消防署副署長
総務予防室参事 （査察・違反是正担当）	川辺 貴則	西消防署予防司令
警防救急室救助第2司令長	池田 雅彰	警防救急室救助第1司令
警防救急室参事（救急G）	藤原 雅宏	警防救急室主幹（救急G）
指令情報室参事 指令情報第1司令事務取扱	前部 晴奈	警防救急室参事（救急G）
指令情報室参事（情報システム 担当）	細谷 泰城	南消防署救急第1司令
南消防署副署長	梅山 芳和	南消防署予防司令 予防査察係長事務取扱
南消防署警防第2司令長	西川 広治	警防救急室救助第2司令長
北消防署警防第1司令長	松田 旨功	指令情報室参事 指令情報第1司令事務取扱
北消防署警防第2司令長	丹 紀久則	指令情報室指揮調査第1司令
西消防署副署長	出原 宏	西消防署警防第1司令長
西消防署警防第1司令長	吉良 孝一	南消防署副署長
東消防署警防第1司令長	瀬戸 伸浩	北消防署警防第2司令長
警防救急室参事（救急啓発G）	宮田 博史	総務予防室参事 （北消防庁舎建設等整備担当）

事業所訪問

大幸薬品株式会社 吹田工場

大幸薬品(株)は、1946年に吹田市で創業し、忠勇征露丸(現『正露丸』)の販売を開始しました。現在の吹田工場では1951年から製造を開始し、半世紀以上となります。吹田工場では、胃腸薬『正露丸』と、『セイロガン糖衣A』を製造し、日本国内のみならず、中国、香港、台湾、カナダ、米国、マレーシア、タイなど世界10の国と地域で販売しています。

2015年には、吹田工場の老朽化した設備の刷新と、衛生管理製品『クレベリン』の製造拠点として、京都府精華町に京都工場・研究開発センターを新設致しました。現在は研究開発及び『クレベリン』の製造拠点として、稼働しております。

昨今、医療費の増大が問題となる中、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度の身体の不調は自分で手当てする」という考えの「セルフメディケーション」の考え方が重要視されております。弊社は製品や様々な活動を通じて、世界のお客様に健康という大きな幸せを提供してまいります。



吹田工場



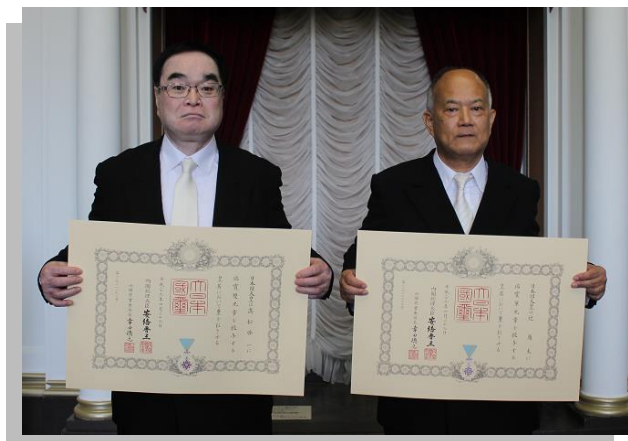
京都工場・研究開発センター

◆平成 29 年春の褒章・叙勲受章者◆

平成 29 年 4 月 29 日（土）、吹田市消防団 団長の岡本 一弘氏が栄えある平成 29 年春の褒章（藍綬褒章）を元副団長の金谷 愛生氏が叙勲（瑞宝単光賞）を受章されました。

元吹田市消防職員の高松 啓一氏が栄えある第 28 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を元吹田市消防職員の辻 勇夫氏が栄えある第 28 回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）、受章されました。

褒章は公衆の利益を興し、成績著明である者に授与されるものです。叙勲は国家または社会公共に功労のある者、危険業務従事者叙勲は著しく危険性の高い業務に精励した者に対して授与される勲章です。



辻 勇夫 氏（右）
高松 啓一 氏（左）



岡本 一弘 氏（右）
金谷 愛生 氏（左）

◆危険物安全講演会 ◆



平成 29 年 6 月 7 日（木）吹田市消防本部 8 階研修室において危険物安全講演会が開催されました。

株式会社 宮木電機製作所の山下 博也氏によって「爆発は起こる！ ～爆発事故と防爆機器～」と題した講演が行われました。

爆発の仕組みと恐ろしさがよく分かりました。さらに、防爆機器等聞きなれない言葉でしたが、危険物関係では無くてはならないもので、これによって私たちの安全が保たれているのが分かりました。当防火連合会からも多数の参加があり爆発の危険性を再認識した講演になりました。

◆南消防署救急隊が1隊増えました。◆

平成29年4月1日(土)に南消防署において、救急隊が1隊増隊されました。年々増え続ける救急出動に備えるべく、吹田市で常備8台の救急車が運用できるようになりました。



配備され救急出動にそなえる救急車

◆消防技術練成会◆

平成29年1月31日(火)、2月1日(水)の2日間にわたり中消防庁舎において消防技術練成会がおこなわれました。日ごろ訓練で鍛えた消火及び救助の技術を披露すべく隊員たちは、早朝から非番で参加でしたが、疲れも見せず寒さを吹き飛ばす勢いで、はつらつとしたパフォーマンスを見せました。



練成会の様子

◆消防音楽隊演奏会◆

平成29年3月18日(土)「第7回全国消防音楽隊フェスティバル」が行われ、吹田市消防音楽隊が千里中央会場で演奏を実施しました。このフェスティバルは全国23消防音楽隊が参加するイベントで各消防音楽隊は日ごろの練習成果を存分に発揮するとともに火災予防に関するパレード等の広報活動を実施しました。当日は「すいたん」も応援に駆けつけてくれました。写真は「すいたん」によるドラム演奏のワンシーンです。



フェスティバルの様子

◆危険物安全月間◆

平成29年6月1日(木)から6月30日までの1か月を危険物安全月間として危険物施設への立入検査等を通じて危険物施設の安全確保を市内の事業者へ指導を強化しています。

6月2日には西消防署予防査察係がスタンドへの立入検査を行いました。ガソリンスタンドでの事故は一般火災とは比べ物にならないほど危険で、直接人命にかかわることを説明し、関係者に給油時の監督等強化するよう指導しました。



地下のタンクからガソリンがもれていないか検査している様子

消防本部から防火実務体験訓練についてお知らせ！



原則毎月、第2水曜日に開催します。吹田市内在住、在勤または在学されている方5名以上で受講できる団体や事業所単位で申込みしてください。
各回の定員は40名です。
※参加費は、無料です！

【訓練内容】

- ・消火器の取扱い
- ・天ぷら油火災実験
- ・屋内消火栓設備の取扱い
- ・危険物実験
- ・煙体験
- ・電気火災実験
- ・避難器具体験(垂直式救助袋)
- ・防災物品燃焼実験

【お問い合わせ】

消防本部 総務予防室予防グループ
吹田市江坂町1-21-6 TEL: 06-6193-1116

※詳しくは吹田市消防本部ホームページをご覧ください。



